

オオウシノケグサ (大牛の毛草)

名前の意味^{いみ}：大きなウシノケグサの意味。ウシノケグサは、葉が細く巻いているのを、牛の毛にたとえた。

分類：単子葉類、イネ科、ウシノケグサ属
(イネ科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、空き地

分布：北海道、本州

原産地：北半球の北部 (日本の高山に自生^{じせい}があるが、千葉で見られるのは牧草が逃げ出したもの)

特徴^ま：巻いた細い葉の密集する株、先にノギ(針のような毛) が出ている筈かまぼこ型の花。

種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数^{りべん}：離弁、2裂^{れつ} (小さくてよくわからない)

花の時期：5 - 7月

食べ方：食べない

見分け方：身近に見られる他のイネ科植物は葉が巻かない。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)